

不思議の国

2023.10.9

日本では見るが、イタリアでは見るできないものがある。整然と1列に並ぶ光景である。イタリアに住んでいると、イタリア人が列をつくれないうことにイライラすることがある。1列に並ぶことなど最初からできるはずがないが、2列から3列に並んでいても、徐々に横に広がって、どんどん割り込んでくる。結局は、列に並ぶ意味がない。

イタリア人が日本に来て、バスなどを待つ整然とした1列の並びを見ると、日本人はすごいと感心する。イタリア人の場合は、10分後に到着するバスのことを考えて行列をつくることはできなくて、バスが到着した段階でいかにうまく先に乗り込むか、瞬時に判断してその技を競うほうを向いている。

イタリア人が日本に来て一緒に行動するとき、気をつけるべきことがある。レジに並んでいる間に購入する商品を食べ始めるのである。典型的なのはパン屋である。支払いを済ませる前にパンをかじる。こうなると、かなり気まずい。以前、イタリアから友人家族が日本に来たときに、子どもたちが実際にこの行動をとってしまった。大人ではなく子どもだったからまだよかった。

我々は、子どものときから、紛らわしいこと、誤解を招くようなことは慎みましようとして教えられて育つ。イタリア人にたぶんそのような発想はない。注意されれば、今から払いますと答えればいいという考えである。

日が暮れてから出かけるのに、なぜかサングラスを持ってくる。しかも意味なく頭にかけてたり、シャツの胸元にぶら下げたりしている。お洒落のつもりなのだろうか。なぜ役に立たないものを持ってくるのかと尋ねると、何となく落ち着くとの答えだった。妙に納得してしまう。

イタリアでは雨があまり降らない。地中海性気候なので、雨は春先と秋に集中していて、夏はまったくと言っていいほど降らない。ローマでは、降ったとしても夜中に降り、朝方には止んでいる。イタリアで傘を差した記憶がない。

したがって、様々なイベントは雨が降らないという前提のもとで準備される。かなり楽観的な予想に基づいて準備される。もし、雨が降ろうものなら、イタリア人は急に元気をなくす。特に南部の人はそうである。雨が降ると落ち込んでいる。

イタリアを旅していると、並べないイタリア人に腹を立てそうなものだが、意外と大丈夫である。ゲルマン系のドイツ人を中心に並んでくれるからである。ローマの現地の中学校に行ったことがある。こちらは整然と2列に並んでいるのに、向こうの中学生はごちゃごちゃとかたまっていた。対照的だった。日本人からすると、不思議なことが多いが、なぜかおもしろいのも事実である。何となく許してしまう不思議な魅力があるのは確かである。